



イカにんじゅつ道場 どうじょう

かとう
香桃もこ作

おかだ
岡田よしたか絵

ふくいんかんしょてん
福音館書店

せつしやは、イカ。にんじゃでいける。「イカにんじゅつ道場」をひらいたのでいける。弟子のキスやカニやクラゲににんじゅつをおしえるが…ぱへり。ついつい、たべてしまった。すまん、ゆるせ。せつしやのせいではない。こんどは、クジラがにんじゅつをならいにきた。せつしやをたべるためか？だが、くるしいしゅぎょうをのりこえたせつしやは、こわがってなどいないのだ。

イカにんじゅつのおしゃべりとさし絵で、読んだら思わずくすくすとなることまちがいない。

